

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	まなぶる▶ときわびとII		科目コード	F110101	
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.2	4.4	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>この授業のねらいは、「計画的学修の方法をみにつけること」と「教え合い、学び合いを通して学習効果を高めること」です。他の科目と課題が重なり、時間外学修に多くの時間を費やした学生さんもおられたようです。しっかり取り組んだ学生ほど大変だったと思います。皆さんは国家試験や教員採用試験にパスしないと専門職業人にはなれません。そのために自分の学びの特徴（自分の能力把握や学修全体に対してどれだけの時間をかけて取り組む必要があるかなど）を1年生の間に把握しておくことが必要です。SPI（非言語）という教材を使用したため、学生によって得意不得意があったと思います。しかしながら SPI テストセンターは日本でもっとも使われている採用テストと言われています。専門職の採用試験でも使用されることも増えているようです。この経験は決して無駄にならないと思います。実施方法等については、先生方で話し合っ、よりよい方法を我々教員も探していきます。3年後のみなさんの成長した姿を楽しみにしています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B	科目コード	F110305		
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.2	4.3	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>「核アレルギーを根絶できるか」というテーマでしたが、実験や、調査研究など、多方面からのアプローチで、テーマについて学んでもらえたと思います。今回は福島県帰宅困難地域で自生の栗の放射線濃度を測定してもらえて良かったです。また、残念なことに最近話題になっている核兵器について、現状を考えながら、いろいろと考えてもらえたと思います。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> •ありがとうございました! <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> •スライドの文字が多すぎて見づらかったです。 					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	情報メディア演習 AB		科目コード	F120104・F120105	
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本演習で皆さんが学修した内容は今後どのような場面でも必ず生きています。ぜひ今後もプレゼンテクニックを磨き、自分自身の発表スタイルを確立してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ (E科)	科目コード	F120303・F120304		
担 当 者	近藤みづき・柳本太三				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.6	4.6	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価結果から、概ね皆さんが満足いく授業が展開できたと思います。昨年度と同様、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大を予防しながらの授業でしたが、寒い中での手洗い等、一人ひとりが感染対策に協力してくれたおかげで、安全で安心な授業が展開できたと感じています。ご協力、ありがとうございました。</p> <p>アンケートの自由記述欄では「テニスは本格的なことを学べた。部活みたいで熱心に教えてくださったことが良かった。」「バスケバレーがミニゲームからしっかりした試合まであって色々な楽しみ方ができた」のコメントがある一方で「テニスは部活感覚が強かったので少し窮屈に感じた」「ゲームのルールが難しかったので、分からない人にも伝わるように説明してほしい。」とのコメントがありました。テニスは基礎技術を身に付けると深く、長く楽しめるスポーツですので、正しく身に付けてもらいたいという思いがありました。また、ルールに関しては、授業内で説明すると実技の時間が少なくなってしまうので、時間外学修にしていたと記憶しています。どちらも説明が足りなかったようですので、次年度改善したいと思います。</p> <p>「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、学生の皆さんが毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。今後、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされること、さらに「運動が苦手だからできない」と決めつけずに、粘り強く色々な運動に挑戦されることを願っています。(近藤・柳本)</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ (R科)	科目コード	F120401・F120402		
担 当 者	近藤みづき・松本大佑				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.4	4.4	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価結果から、概ね皆さんが満足いく授業が展開できたと思います。昨年度と同様、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大を予防しながらの授業でしたが、寒い中での手洗い等、一人ひとりが感染対策に協力してくれたおかげで、安全で安心な授業が展開できたと感じています。ご協力、ありがとうございました。</p> <p>アンケートの自由記述欄では「テニスもバドミントンも男女で組むことで、普段関わらない子とも話すことができ良かった」「テニスでは礼儀作法も学べたところ、インディアカは先生が参加してくれるところ（良いと思った点）」のコメントがある一方で、「チームスポーツをもやる方がいいと思った」「マスクしたままだと遠くまで声が通らない。」とのコメントがあった。スポーツ種目に関しては、次年度に向けて検討します。声が聞こえない件に関しては、今後のマスクの着用の動向をみて検討したいと思います。</p> <p>「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、学生の皆さんが毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。今後、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。(近藤)</p> <p>「授業評価アンケートを回答して頂き、有難うございました。皆さんの感想から、仲間と共にスポーツを行う重要性を十分に理解してくれていることが分かり、嬉しく思います。先行研究では、運動継続の要因として、仲間との関わりが強く影響するといわれています。したがって、来年度以降も各自で時間を見つけ、自ら、運動継続ができる環境を整えていくようにしてください。」(松本)</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション II	科目コード	F120700		
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.2	4.3	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>「英語コミュニケーション II」では読むことに焦点を当て、授業中に丁寧にテキストの英文を読んでいきました。皆さんは真摯に取り組んでくれました。雰囲気を読まずに、きちんと文法を押さえることの大切さが分かってもらえたら嬉しいです。細かいことですが、今のうちに基礎を定着させておくことが大切です。また授業中に自分が当たらないところも、しっかりと勉強しましょう。</p> <p>読むことと同時に書くことも授業中に時間を取れると良かったのですが、テキストを読むこと時間がかかり、十分に勉強することができませんでした。書くことは苦手と感じている人も多かったようですので、授業で取り上げられなかったことは申し訳なく思います。ただ、授業外で電子書籍を含む graded readers の読書とレポート作成が課題として与えられていました。この課題のねらいは、授業で取り上げるリーディングとライティングの不足を補うことと、意欲的に読んだり、書いたりしてもらおうということでした。レポートでは皆さんはのびのびと英文を書いている様子で、とても好ましく思いました。まずは抵抗なく「書く」ことが大切です。文法書を使わなくても graded readers を読むことで基本の文法は身につけていきます。この授業が終わったから、もう読まない…ということがないように、是非、続けてほしいと思います。graded readers を使っての多読は英語の力を総合的に向上させる効果があることが分かっています。また、色々なジャンルの内容に触れることで、皆さんの興味の幅も広がるかと思えます。図書館に多数揃っていますので、時間を見つけて読んでみてください。</p> <p>この授業を通じて自分の学習スタイルを確立してもらうことも目標のひとつでした。自分にあう英語の勉強の方法を見つけることができたでしょうか？今年度の「英語コミュニケーション II」は例年になく、課外学習の課題を多く出しました。ほとんどの皆さんが真面目に取り組んでくれました。恐らく全部の課題をこなすことに多くの時間がかかった人も大勢いると思います。その課題をこなしながら、自分の学習のペースを掴むことができたでしょうか？大学生になったのですから、将来も使えるような勉強方法を是非見つけてください。</p> <p>医療系の仕事には英語は欠かせません。日々英語に触れてほしいと思います。「勉強」と堅</p>					

苦しく考えず、英語を楽しんでください。検定試験を受ける、映画を楽しむなど、具体的で身近な目標を立てることが効果的かと思います。英語は「大学受験前がピークだった。その後ほとんど忘れてしまった」ということにならないようにしてください。

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	現代社会学	科目コード	F123201		
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	4.6	4.6	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>この授業は、コロナ下での遠隔授業を経て、今年度から対面授業が再開しましたが、遠隔授業の良いエッセンスは残しつつ対面と遠隔とのハイブリッドで行いました。授業設計は、新聞を介した時事問題を題材にして、「自分で課題を見つけて、その課題を自分で解決する」というこれからの社会人（「働いている人」という意味ではなく、社会に生きる全ての人）に求められる力を、体験的に身につけてもらうことを企図しました。</p> <p>実際の授業は「自分たちで授業を創る」というスタイルでしたが、みなさんの積極的な取り組み姿勢はとても良かったと評価しています。ここでの経験が、今後のみなさんの学びに少しでも役立てば嬉しいです。ちなみに、これからも新聞はぜひ読んでくださいね。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	政治学	科目コード	F123251		
担 当 者	宮田英和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.2	4.2	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>みなさん、風変わりな講義だと思ったことでしょう。もし、授業を楽しみながら政治を身近に感じるようになったら、嬉しいです。</p> <p>立場や環境によって考え方が異なるのは当然ですが、政治に無関心ではいけません。何故ならば、政治によって、みなさんの今の生活や将来の生き方が大きく左右されるからです。</p> <p>今後も、国内外の出来事に興味を持ち、ネット検索で知識を広げ、自分なりの考え方を熟成させてください。</p> <p>みなさんの未来に幸あれ！ May your future shine brightly.</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ	科目コード	F12705 F12706		
担 当 者	千石真理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.8	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>日本も国際化が進んでいますので英語はみなさんの将来の職場でも必要になると思います。今後ご自分のペースで英語の勉強を継続し、公私ともに充実した未来を切り開いて頂きたいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B	科目コード	F110303		
担 当 者	畠 榮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.7	5.0	5.0	4.7	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>病理学は基礎科学と臨床医学の架け橋であり、病因論・病原論・病態論（病態生理）の正しい理解がなければ、臨床医学は症状や経験論的な治療を暗記するだけになる。臨床医学を科学的に理解できる能力は、基礎医学の組織的かつ体系的な学修によって習得でき、その体系化を行うのが病理学の講義である。病理学は生理状態の各臓器の構造・機能に係る知識を基盤に、病的状態での各臓器の変化、原因、経過、転帰あるいは死因を分析することで、疾病を科学的に解明しようとする学問である。また病理学は現代の基礎・臨床医学において必要な知識、考え方、研究手法の根幹をなしていると言う点で重要な学問である。学生は疾病の病態生理を理解するために、個体への影響に関する知識を学ばなければならない。そのための基本学問として大学道場 mini ゼミ B で病理学総論を習得するようにしていただきたい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	地域との協働 A	科目コード	F130001		
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.3	4.3	4.5	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>これまでボランティア活動について、その活動の意味まで踏み込んで考える機会は無かったと思います。ぜひ本授業で学んだ知識や実際に参加して活動に自信を持って、今後も積極的にボランティア活動に参加していただければ幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	2		
科 目 名	地域との協働 B	科目コード	F130101		
担 当 者	澁谷雪子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.2	4.0	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で合宿を行うことができませんでした。本年度は、合宿に向けての感染症対策、合宿内容の検討を検討し、合宿中止を受け、ときわ健康フェスタに向けた感染症対策、企画内容の検討を行い、当日スタッフとして参加することで「地域交流」を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の中での企画の進め方（感染症対策、密に案らない方法、飲食時に気をつけること）を考えました。状況が変わり、考える内容も変化していく中で、皆さんは臨機応変に対処し、学んでくれたと感じています。</p> <p>評価結果は、I 学生自身が 3.7（基盤平均との比 0.95）、II 授業内容が 4.2（比 0.98）、III 授業方法 4.0（比 0.90）、IV 学習成果 4.3（比 1.00）、V 総合評価 4.3（比 1.08）でした。各設問の評価を見ると、「この授業に意欲的に参加した」が 4.60（比 1.05）と高評価であり、また「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった」も 4.01（比 1.02）と次いで高評価でした。一方、「授業の進行速度は適切だった」は 3.90（比 0.88）と低評価でした。</p> <p>学生リーダー・サブリーダーが中心となり、授業を進行していく形式をとりました。また目標をたて、それに向けて調べ、考えることも皆さんで行ってもらいました。このことより、授業の進行（教員の進行）が適切でないと感じているのだと思います。一方、皆さんで進行し、自ら調べ、考えることにより、意欲的に参加した、好奇心を起こす内容であったと感じたのだと思います。</p> <p>本年度も残念ながら、合宿が実施できませんでした。その中で、地域活動を意欲的に進めていただき、ありがとうございました。学生の皆さんが作りあげる授業でしたが、いかがだったでしょうか。状況が変わる中で、考えることも変わっていき、大変だったと思います。この経験を、この後の専門分野、将来、社会人となった際に活かしてください。</p> <p>今後、授業でなく学内でお会いすることもあるでしょう。そして、地域活動でもお会いしましょう！（中村、澁谷）</p> <p>「KOBO TOKIWA 健康ふれあいフェスタ」での皆さんの活躍が印象に残っています。合宿</p>					

が実施できなかったことは残念ですが、つまりいた時には目標を切り替えて、その中でできることを模索していく経験になったのではないのでしょうか。この経験をぜひ、今後活かしてください。(伊藤)

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、小豆島での合宿を準備したにもかかわらず、内容の変更を余儀なくされてしまいました。臨機応変な対応が求められるなかで、学生のみなさんはすぐに頭を切り替えて、健康フェスタへのかかわりを建設的に行っていたのが印象的です。こういった臨機応変な姿勢は、今後も必ず生きてくると思いますので、この経験を大学生活やこれからのキャリアのなかでぜひ活用してください。(京極)

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1, 2, 3, 4	
科 目 名	アカデミックライティング		科目コード	F120501	
担 当 者	山下敦子 牛頭哲弘 神田大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートの結果によると、この授業で良いと思った点は、大きく分けて次の2点でした。「この授業で学んだことがレポートや論文に活かせることができそうだ」、「文章を書くことの苦手意識が減った」ということです。授業によって、文章表現のルールや作法が、理解され、身に付いてきたのだと私たちも実感しています。アカデミックライティングで行った内容は、これからのレポート作成や日常の報告文等に必ず生きて働くものです。授業だけで終わらせずに、常に意識して活用していきましょう。「演繹で述べよう」「トピックセンテンスをつくろう」「参考文献の内容を縮約で書いてみよう」など常に意識することで、さらに一層文章表現力は高まります。この授業は、オンデマンド方式の遠隔授業でした。400人を超える受講生でしたが、毎回の課題や感想を読んでいくと、どこが難しいのか、何が苦手なのか、がよくわかりました。今後も、添削をきめ細かくしたり教材を開発したりして、みなさんの読解表現力を向上を目指したいと考えています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4	
科 目 名	プログラミング入門	科目コード	F122401	
担 当 者	関 雅幸			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
3.9	4.3	4.3	4.5	4.5
学生へのメッセージ				
<p>学生による授業評価調査は「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」という事柄に対して特に課題が残るという結果になりました。毎年レポートを読むと皆さんがいろいろな工夫をしてプログラムを作成していることがわかります。プログラミングを学ぶことによって、コンピュータを用いた作業を効率化するツールを作ることができるようになりますし、コンピュータを使わないケースでも物事の手順を論理的に考えることができるようになります。今回の経験を今後の授業だけではなく、社会に出ても活かしていただけたらと思います。</p>				